

■ DPF手動再生 [RF-CDT]

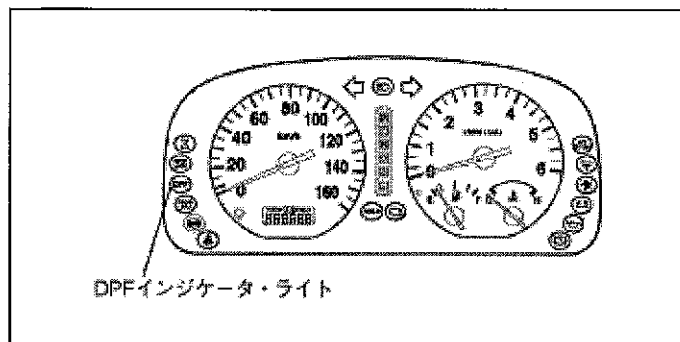
id014051990800

警告

- DPF手動再生中は、高温の排気ガスが排出されるため、近くに人や可燃物がある場合、火傷や火災など重大な損傷、損害につながる恐れがある。DPF手動再生を実施する場合は、必ず周りに人や可燃物がない場所で行う。
- 排気ガスを多量に吸い続けた場合、一酸化炭素中毒になる恐れがあるため、DPF手動再生を実施する場合は、必ず風通しの良い広い場所で行う。

参考

- DPF手動再生制御は、コンビネーション・メータ内のDPFインジケータ・ライトが点灯時に作動する。



abrijw00000411

- DPF手動再生は以下の条件で作動する。
 - 大気圧 90 kPa以上
 - 吸入空気温 0 °C以上
 - 冷却水温 70°C以上
- DPF手動再生中はアイドル回転数が最大で約80 分間上昇する。
- PCMに以下のサービス・コードが記憶されている場合は、手動再生を実施する事ができない。手動再生を実施する前に、各サービス・コードの診断を完了させる必要がある。
 - P0093、P0097、P0098、P0101、P0102、P0103、P0106、P0107、P0108、P0112、P0113、P0117、P0118、P0131、P0132、P0151、P0152、P0154、P0191、P0192、P0193、P0201、P0202、P0203、P0204、P0301、P0302、P0303、P0304、P0337、P0406、P0545、P0546、P0548、P0549、P0605、P0606、P0628、P0629、P1378、P1379、P1589、P1675、P1676、P2002、P2032、P2033、P2146、P2147、P2148、P2149、P2228、P2229、P2454、P2455、P2456、P2621、P2622、P242F

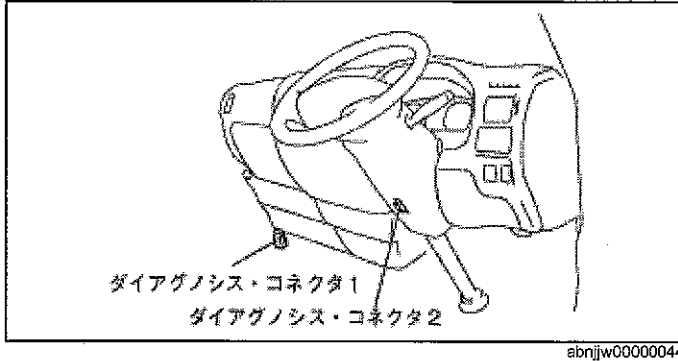
堆積量の目安	DPF堆積				
	12.82 k	20.51 k	25.64 k	38.48 k	51.28 k
自動再生	—	実行可能	禁止		
DPFスイッチによる手動作成	—	実行可能		禁止	
M-MDSによる手動再生	実行可能			長時間モードで実行可能	禁止
DPFワーニング・ライト	—	点灯	点滅		
フェイル・セーフ	—	出力制限①	出力制限②		
エンジン警告灯	—			点灯	
記憶されるサービス・コード	—	P245B	P246B		P242F

出力制限①：連続再生時にDPF前の排気ガス温度が500 °C以下になるように、出力制限を行う。(車速100 km/h相当)
 出力制限②：連続再生時にDPF前の排気ガス温度が450 °C以下になるように、出力制限を行う。(車速85 km/h相当)

abrijw00002168

□ M-MDSを使用する場合

1. エンジンを暖機する。
2. M-MDSをダイアグノシス・コネクタ2に接続する。



参考

- DPF手動再生の中断は次の操作で行う。
 - MT車は、クラッチを踏んで、ギアを入れる。回転がアイドルまで下がったら、ニュートラルにして、しばらくレーシングする。
 - AT車は、ブレーキを強く踏んで、Dレンジに入れる。回転がアイドルまで下がったら、Nレンジにして、しばらくレーシングする。

3. 車両認識後、M-MDSの初期画面から以下を選択する。

- IDS（ノートPC）を使用する場合
 1. 「パワートレイン」
 2. 「DPF」
- PDS（Pocket PC）を使用する場合
 1. 「すべてのテストおよび設定」
 2. 「DPF」

4. 続いて画面メニューから、「DPF再生」を選択する。

5. 画面の指示に従い、作業を行う。

□ M-MDSを使用しない場合

◇ エンジン警告灯が消灯で、DPFインジケータ・ライトが点灯時（PCMにサービス・コードP2458が記憶されている時）

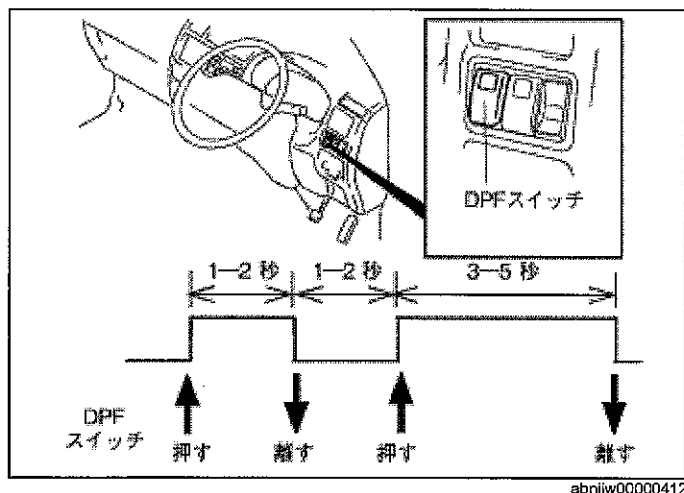
1. エンジンを暖機し、アイドル状態にする。
2. アクセル・ペダルを全閉にする。

参考

- 手順3を実施すると、約5秒後にアイドル回転数が上昇し、DPF手動再生が開始する。

- DPF手動再生中は、次のような現象が起きる場合があるが、異常ではない。
 - 排気ガスの臭いが通常運転時と異なる
 - 白煙を排出する
- DPF手動再生の中断は次の操作で行う。
 - アクセル・ペダルを踏む

3. 図に示すようにDPFスイッチを以下の手順で操作する。



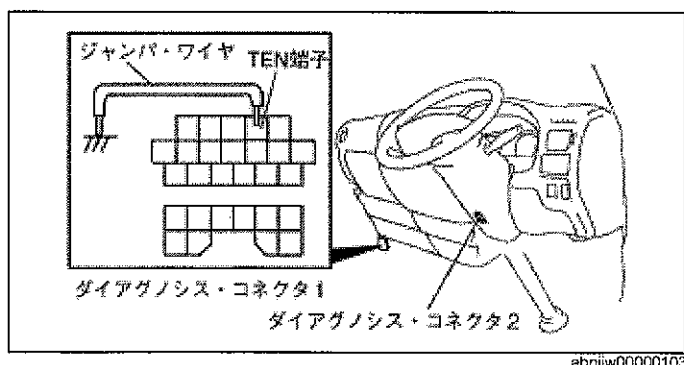
- (1) DPFスイッチを1—2 秒間押す。
- (2) DPFスイッチを離し、1—2 秒後に再度DPFスイッチを3—5 秒間押す。
- (3) DPFスイッチを離す。

4. アイドル回転数が通常に戻った後、レーシングを行い、DPFインジケータ・ライトが消灯していることを確認する。

- DPFインジケータ・ライトが引き続き点滅または点灯している場合は、再度手順3を実施する。

◇ エンジン警告灯が点灯で、DPFインジケータ・ライトが点滅時（PCMにサービス・コードP2463が記憶されている時）またはPCMを交換した場合、またはDPFを交換した場合

1. エンジンを暖機する。
2. アクセル・ペダルを全閉にする。
3. エンジン・スイッチをOFFにする。
4. ジャンパ・ワイヤを使用して、ダイアグノシス・コネクタ1のTEN端子をボデー・アースする。



5. エンジンをアイドル状態にする。

参考

- DPF手動再生の中断は、次の操作で行う。
 - TEN端子のボデー・アースを解除
- 手順6を実施すると、約5秒後にアイドル回転数が上昇し、DPF手動再生が開始する。

6. レーシングを2回行う。

7. アイドル回転数が通常に戻った後、DPFインジケータ・ライトが消灯していることを確認し、エンジン・スイッチをOFFにして10秒以上放置する。

- DPFインジケータ・ライトが引き続き点滅または点灯している場合は、再度手順3を実施する。

8. TEN端子のボデー・アースを解除する。